



05 01 12

オオタカ棲む里山の自然 いつまでも！

瓦版にゆるす

旧日本IBMグランド跡地対策協議会



NO.32 集会お知らせ号

これからが正念場

今年も、元気に力を合わせてガンバりましょう！

「第10回 住民集会 / 住民説明会」 を開催します

この問題のために対策協議会が発足して足掛け3年目に突入しました。住民の方々の人的、金銭的、時間的な資源を費やしながらのつらい闘いですが、町の未来を守りきるまで頑張りましょう。年頭にあたり、住民集会を開き、最新の状況と直近の課題について意見、情報交換を行います。年末にはハセコーに対し、これまで積み残されてきた建築主問題、オオタカ保護、工事車両運行問題についてなどの「未回答宿題一覧」を突きつけました。

「16日までに回答を用意する。」とのことなので、ハセコー出席の説明会のパートも設けたいと思います。

- ・ 1月16日(日)午後2:30 ~ 5:00
- ・ こすもす会館

行政指導に困ったハセコー

「オオタカ調査します。」

「でも工事は続けます。」

ハセコーは行政の指導をかわすためか、年末になって「オオタカ調査をする」と町田市に申し出ました。ところが「工事は続行する」と宣言。つまり、この地のオオタカを絶滅の瀬戸際に追いやりながらの調査です。何があってもハセコーや東武鉄道などの企業体質は変わらないようです。しかし、曲がりなりにも調査が開始されたのは、住民の闘いが業者を追い詰めていることの現れと言えます。さらに粘り強く「工事を中止し、ガイドラインに従ったオオタカ調査をせよ」と訴えていきましょう。

絶滅危惧種 オオタカの危機

緊急に保護を訴える要望書への署名活動にご協力をお願いします。

毎年1月下旬頃から、オオタカは繁殖期を迎え、求愛行動を始めます。しかし、巨大なクレーンがグラウンドで動き回っている今、オオタカが緑豊かな玉川学園、南大谷、成瀬地区にいらなくなり、生態系も大きく損なわれることが危ぶまれます。オオタカを救うためには工事の即時中止が必須です。玉川学園、南大谷、南台の町内会は小池百合子環境大臣、石原慎太郎東京都知事、寺田和雄町田市長に緊急の強い行政指導を求める要望書を提出することを決めました。最終締め切りは17日。できる限りのご協力をお願いします。

(署名用紙は対策協議会ホームページからもプリントアウトできます。玉川学園町内会事務所や正門前テントにお持ちください。)

正門前監視にご協力ください

寒さが日ごとに増している中で、正門前で工事車両の違反摘発の監視活動に立っている皆様、本当にご苦労さまです。隙については市の認定条件を逸脱した行為をしようとするハセコーです。監視を甘くすれば、どうなるかは自明。この地味な監視活動が本格工事への大きな圧力となっています。これから先も風邪など引かぬよう、交替制で続けていきたいと思ひます。

「一週間の中で、ある一日の、1時間でも2時間でも結構です。多くの方に当番表に加わって頂ければうれしいです。飛び入り、差し入れ大歓迎！」これが現場の声。どうかみなさん、ご協力をお願いします。

最新情報は対策協議会ホームページで！

<http://taisaku.holy.jp/>

ご意見は…taisaku@ee.holy.jp

事務局…042-725-0438